

第Ⅲ期県立病院改革プランの実績概要

資料3

【主な経営指標】

(単位：億円、%、日、件、円)

区分	中央病院					厚生病院					
	H28	H29	H30	R1	R2	H28	H29	H30	R1	R2	
医業収支 比率 (%)	計画	98.9	96.8	99.1	95.0	96.2	93.0	95.8	94.4	95.1	94.0
	実績	99.3	95.5	96.2	86.5	86.7	90.2	89.5	94.2	94.7	90.9
	差引	0.4	△1.3	△2.9	△8.5	△9.5	△2.8	△6.3	△0.2	△0.4	△3.1
経常収支 比率 (%)	計画	107.6	105.4	106.3	102.4	110.9	102.3	105.1	103.9	104.3	103.2
	実績	108.0	103.9	105.2	95.3	98.8	100.2	99.3	104.0	102.4	115.2
	差引	0.4	△1.5	△1.1	△7.1	△12.1	△2.1	△5.8	0.1	△1.9	12.0
純損益 (億円)	計画	6.95	4.27	1.66	4.84	0.34	△1.45	0.57	△0.22	2.99	2.16
	実績	7.50	2.70	1.30	△12.80	△17.80	△3.00	△3.00	△1.00	2.00	11.80
	差引	0.55	△1.57	△0.36	△17.64	△18.14	△1.55	△3.57	△0.78	△0.99	9.64
病床稼働率 (%)	計画	91.8	91.8	88.1	88.0	91.2	85.7	89.0	89.0	89.0	89.0
	実績	91.5	90.4	85.5	80.2	77.2	84.3	83.4	81.6	81.4	71.9
	差引	△0.3	△1.4	△2.6	△7.8	△14.0	△1.4	△5.6	△7.4	△7.6	△17.1
平均 在院日数 (日)	計画	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	13.7	13.9	13.6	13.1	13.3	15.6	15.0	14.4	12.9	12.3
	差引	△0.3	△0.1	△0.4	△0.9	△0.7	0.6	0.0	△0.6	△2.1	△2.7
手術件数 (件)	計画	3,700	3,800	4,150	4,500	5,000	1,740	1,800	1,800	1,800	1,800
	実績	3,582	3,521	3,680	4,049	3,992	1,474	1,449	1,413	1,717	1,652
	差引	△118	△279	△470	△451	△1,008	△266	△351	△387	△83	△148
入院 診療単価 (円)	計画	65,425	65,426	66,251	69,562	69,673	49,320	49,320	49,320	49,320	49,320
	実績	65,666	66,073	68,602	69,218	73,172	47,480	48,664	52,264	54,804	60,085
	差引	241	647	2,351	△344	3,499	△1,840	△656	2,944	5,484	10,765
外来 診療単価 (円)	計画	15,432	15,432	15,432	15,432	15,432	13,406	13,406	13,406	13,406	13,406
	実績	16,846	17,535	18,722	20,469	22,009	13,846	13,262	14,949	16,451	16,051
	差引	1,414	2,103	3,290	5,037	6,577	440	△144	1,543	3,045	2,645

※網掛けは計画を下回った項目。

○中央病院

- ・平成30年12月にオープンした新病院効果や人員体制の強化による患者増を見込んでいたが、予想以上に育児等による夜間勤務ができない職員が増え、病床稼働を制限したことなどにより医業収益が伸びず、医業収支比率、経常収支比率、純損益の目標を達成できなかった。
- ・新型コロナウイルス感染症による受診控え等により手術件数が伸びなかった一方で、高度急性期医療の提供に努めた結果、平均在院日数の短縮や診療単価を伸ばすことができた。

○厚生病院

- ・医療圏の人口減及び新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えの影響により、想定した入院患者数を下回ったため医業収益が伸びず、医業収支比率、経常収支比率、純損益、手術件数の目標を達成できなかった。
- ・1病棟を新型コロナウイルス感染症患者専用病床にしたことにより病床稼働率が目標に達しなかったが、高度急性期医療の提供や地域連携を進めるとともに新たな加算措置の取得を進め、平均在院日数の短縮や診療単価を伸ばすことができた。